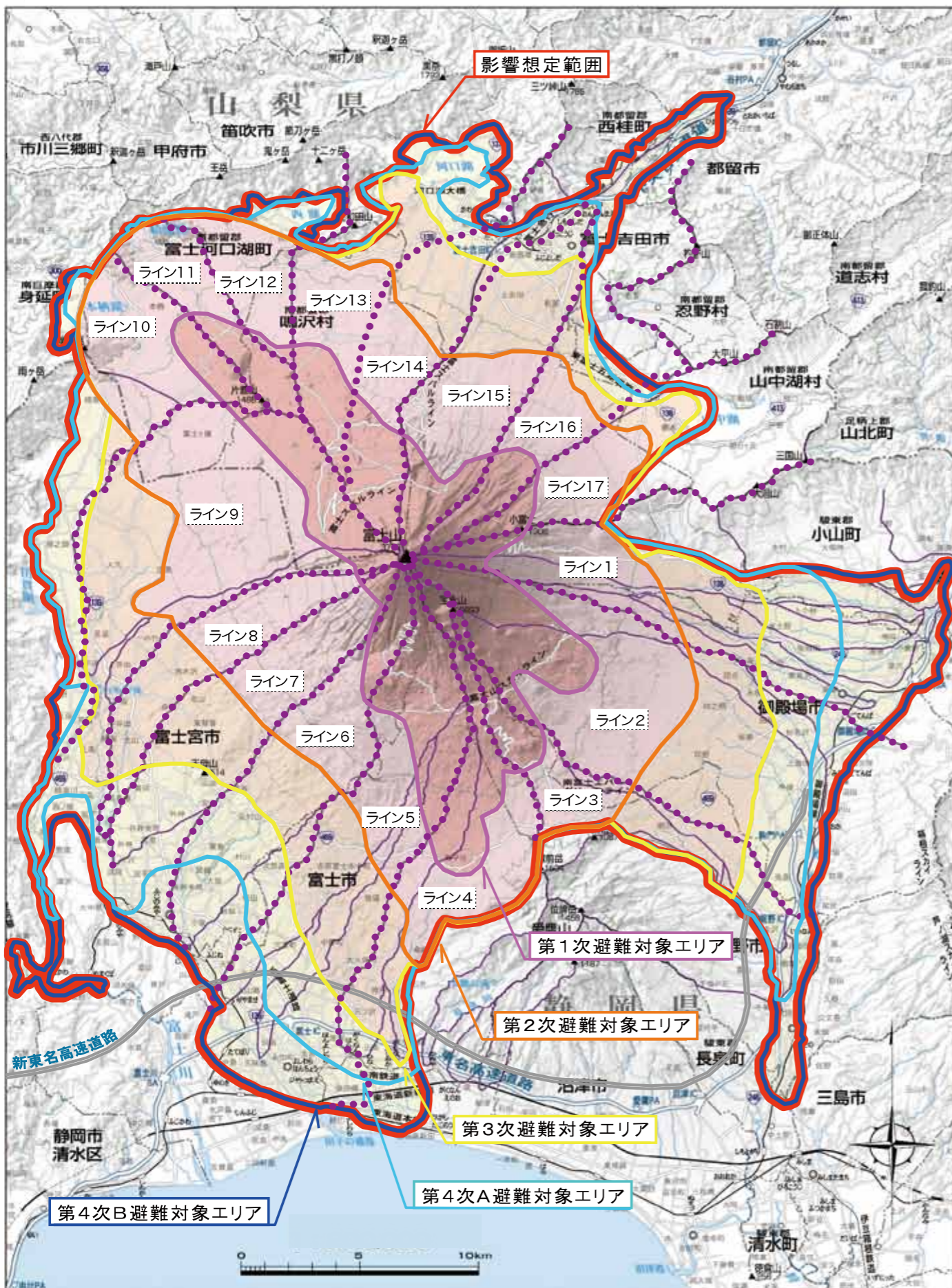


溶岩流等の影響想定範囲と避難対象エリア



※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の20万分1地勢図及び数値地図50mメッシュ（標高）を使用した。（承認番号平25情使、第717号）

富士山 火山災害に備える

火口形成・火砕流・大きな噴石・溶岩流編



富士山は、日本列島のほぼ中央に位置し、日本一の高さ（3,776m）を誇り、その雄大な姿は、多くの人々に感動を与えるとともに、我々の生活に様々な恵みをもたらしてくれます。

同時に、富士山は、過去たびたび噴火してきた活火山であり、今から約300年前の西暦1707年には、南東山腹の宝永火口において噴火しました。

平成26年2月6日に、国、火山専門家、山梨県、静岡県、神奈川県、周辺市町村等で構成された「富士山火山防災対策協議会」において、「富士山火山広域避難計画」を策定しました。

この計画を基に、協議会では、地域住民の具体的な避難方法等について検討を進めているところです。このパンフレットは、富士山噴火に際し、基本的な避難の考え方を知ることや、富士山と上手につきあうための一助としてください。

富士山火山防災対策協議会